

# 「Google がめざす 書籍・学術情報の活用について」

佐藤陽一

グーグル株式会社 プロダクトパートナーシップ本部  
出版コンテンツ アジア太平洋 統括部長

Google は「世界中の情報を体系化して、アクセス可能で使いやすいものにする」をその企業ミッションとしています。書籍の全文検索サービス「Google ブックス」と学術論文検索サービス「Google スカラー」は人類の知の歴史とともに蓄積されてきた歴大な書籍、学術情報を、検索という手段を通じて誰もがアクセス・利用しやすくする試みです。

「Google ブックス」(<http://books.google.co.jp>) は、書籍の全てのページをデジタル化することによって書籍に書かれているテキストの全文を対象に検索ができるようにし、検索ユーザーが自分の探している書籍を、より広範囲により的確に「発見」できるサービスです。本の表紙から裏表紙に至るまで全文を検索対象にすることで、書籍タイトル、著者名、数行の内容紹介といった限られた書誌データを検索するだけでは見つけ出せなかった書籍も見つけやすくなります。現在、全世界で 1,500 万冊を超える書籍がデジタル化されています。

「Google スカラー」(<http://scholar.google.co.jp>) は、学術論文を対象とした検索サービスです。Google スカラーでは、検索アルゴリズムによって検索キーワードに関連が高いと判断された学術論文がリストアップされ、検索結果として表示されますが、検索結果の順位にはその論文の引用数が大きなファクターとして作用します。日本においては、Google スカラーは国立情報学研究所 (NII) の CiNii (<http://ci.nii.ac.jp/ja>) という学術論文検索システムと連携しており、CiNii に収録されている論文のアブストラクトも検索対象に含まれています。Google スカラーでは、リンクリゾルバにより資料へのアクセスを可能にしている図書館を対象に、Google スカラーの検索結果に図書館の資料へのリンクを表示するオプションなども提供しています。

## 【講師略歴】

2006 年にグーグル入社。アジア・太平洋地域における書籍・雑誌・学術コンテンツに関する出版社・図書館等とのパートナーシップ構築の責任者。販売、マーケティング、著作権分野を中心に出版社と IT 企業の両方の立場から、20 年以上出版ビジネスに携わる。グーグル入社以前は、東洋経済新報社を経て 1998 年から 2006 年までマイクロソフトでマイクロソフトプレス（マイクロソフト公式解説書）事業の日本担当マネージャー。